

会設立からの歩みをたどる

6. 松くい虫被害調査と クリーンアップ

講師に米代西部森林管理署長橋本佐内氏

十一月八日(土)、能代一中側の「風の松原」で、橋本氏から「松くい虫被害木の見分け方と処理方法について」の具体的な説明がありその後、実地研修を兼ねたパトロール(約2時間)を行った。参加者はふるさと美化推進チーム五名、米代西部森林管理署員二名、能代市環境課四名を加えた三十八名。

パトロール終了後はスタート地点にもどり、重点箇所として指定した、下草がり後のクリーンアップに一時時間余りにわたって、頑張ったが、ここでも不法投棄をする心ない人々に強い憤りを覚えると共に、みんなで力を合わせるこの大切さを共有し合えた。

「一人の大きな百歩よりも、百人の小さな一歩が大切！」と力説されていた、ふるさと美化推進チームの武田 勝氏の言葉が印象に残っている。

今年度の総まとめにふさわしい、密度の濃い活動だった。

7. 総会まで

- (1) 一月十九日(土) 役員会
 - (2) 二月十六日(土) 役員会
 - (3) 二月二十日(水) 総会の準備
- 「風の松原ガイドマップ」発行

風の松原に守られる人々の会 総会 四月十三日(土)午後一時半



前もって所
もった箇所
が前もって
尾回してあ
りクリーン
アップする
下を会
員。

橋本佐内氏による「松くい虫被害木の見分け方と処理方法」について、熱心に実地研修をする会員。
くいいるような眼眼・・・



● ついに発刊!

「風の松原ガイドマップ」

支援助成金 十二万三千元が交付される

昨年の6月、県のボランティア・市民活動支援助成金の募集に応募していたが、当会の活動が認められて、十二万三千元が交付された。その資金で、かねてより望まれていた「風の松原ガイドマップ」一千部が作製されこの度完成した。このガイドマップは、広く市民が親しみを持って活用出来る、イラストや写真入りの、わかりやすく工夫されたもので、くわしくは総会で説明される予定になっている。乞うご期待!

● 能代海岸保安林

整備の在り方について

米代西部森林管理署 今後の基本方針まとまる

米代西部森林管理署は、所管の能代海岸保安林「風の松原」を対象に黒松純林や広葉樹との混交林、広葉樹などの地帯区分による管理手法の実技術を探るため、試験林による施策を実施する。国有林民間林を問わず地帯区分管理ノウハウの確立のために試験林を設置するのは全国初のケース。日本有数の松林であるとともに、黒松純林から植生遷移が急激に進む「風の松原」の今後の整備の在り方を模索する大きな布石となりそうだ。(14・1・9北羽新報より)

全国初の試験林設置

純林—広葉樹化など分け

米代西部森林管理署 今後の整備方法探る

米代西部森林管理署は、所管の能代海岸保安林「風の松原」を対象に黒松純林や広葉樹との混交林、広葉樹などの地帯区分による管理手法の実技術を探るため、試験林による施策を実施する。国有林民間林を問わず地帯区分管理ノウハウの確立のために試験林を設置するのは全国初のケース。日本有数の松林であるとともに、黒松純林から植生遷移が急激に進む「風の松原」の今後の整備の在り方を模索する大きな布石となりそうだ。(14・1・9北羽新報より)

● 活動の報道から

「風の松原」の先人知る

見分け方学び松林巡視

「風の松原」松くい虫被害木調査

「風の松原」松くい虫被害木調査
「松くい虫被害木」の
見分け方、あつたてて被害
の実態や保全の大切さを
実感していた。
松くい虫被害の見分け方
を学んだ研修会(能代市
内)



お詫び

予定された二回発行はどうか出来たが、期日がずれてしまったこと
をお詫び致します。来年度にご期待ください。